

都市再生整備計画 事後評価シート

みしままちなか賑わい再生地区

平成29年3月
静岡県 三島市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	三島市		地区名	みしまちなか賑わい再生地区			面積	59.6		
交付期間	平成26年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	192百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園事業:街の森保全公園 公園事業:白滝公園										
		提案事業	地域創造支援事業:蓮沼川整備事業 事業活用調査:事業効果分析調査										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	広場(旧水道施設)									削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
		提案事業	なし									計画変更による削除	影響なし
新に追加した事業	基幹事業										—	—	
	提案事業	なし									—	—	
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成28年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							—		
	変更	変更なし									—		
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	自標年度	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
	指標1	満足率(快適性)	%	62.1	H25	65.0	H28	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	総合所見	予定時期
	指標2	市内観光案内件数	件/年	18,065	H23	19,872	H28	25,527	○	あり	—	中心市街地に位置する公園等の整備を行うことで、回遊性・快適性が高まり、散策者や観光客が快適にまちなかを歩くことができるようになった。	平成29年8～9月
	指標3	観光交流客数	人/年	4,444,949	H24	4,889,443	H28	7,251,860	○	あり	—	中心市街地内の水と緑のネットワークの補完や人を引き付けるイベント等を行うことで、市民や観光客を中心市街地へ誘導することに繋がった。	平成30年4月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1		満足率(整備効果)	%	18.3	H25						中心市街地に位置する公園等の整備を行うことで、回遊性・快適性が高まり、散策者や観光客が快適にまちなかを歩くことができるようになった。	平成29年8～9月
	その他の数値指標2		楽寿園入園者数	人/年	255,222	H25			300,000			楽寿園園内及び隣接する公園の整備や各種イベント等を積極的に行うことで、入園者数の増加に繋がった。また、その入園者が正門や南門からまちなかに出ることで、中心市街地を散策する人が増える要因となった。	平成29年4月
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 三島市の新たな観光施設として平成25年1月に伊豆フルーツパーク、平成27年12月に箱根西麓・三島大吊橋が誕生したことで、三島市への観光客数が増加するとともに、三島市がマスコミ等に多く取り上げられたことにより、中心市街地への来街者も増加している。 中心市街地の商業活性化に向けたまちづくり活動やまちなかの環境づくり、イベントの開催、観光ガイドなど、市民によるまちづくり活動が盛んになった。 楽寿園周辺の空き店舗に新規出店があり、新たな賑わいが創出されている。 												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—		
	住民参加プロセス		蓮沼川の実施設計を行う時点で地元自治会等が参加				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 蓮沼川の整備後、官民協働による環境保持を継続していく。		
	持続的なまちづくり体制の構築		水辺環境再生や自然環境保全再生、地域の宝再生等の定期的な環境改善活動、及びまちなか環境保全に向けた活動				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 行政は市民やNPO法人との協働の推進を行い、市民が中心となり環境改善、環境保全に向けた活動を継続していく。		
		中心市街地のせせらぎ回遊ルートにて「一服処」事業を展開				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 新たな民間事業者やボランティアによるせせらぎ回遊ルートを活かした事業展開・ボランティア活動を進める。			
		三島駅南口広場の定期的な清掃活動の実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 三島駅をはじめとしたまちなか環境保全の一環として今後も継続的に活動を行う。			

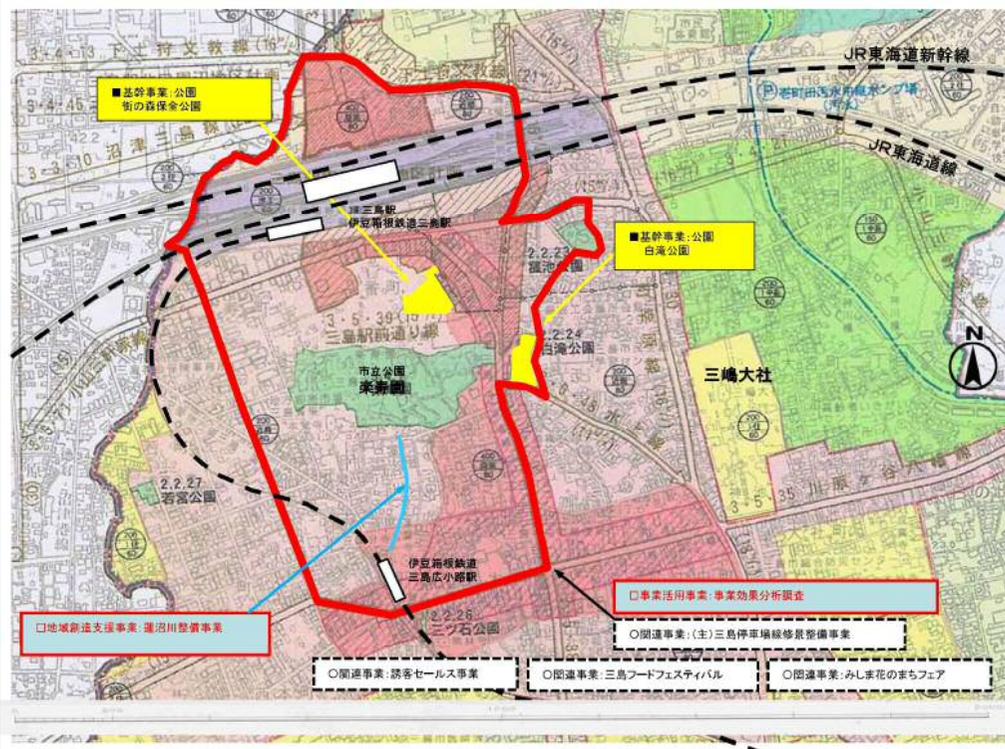
様式2-2 地区の概要

みしまちなか賑わい再生地区(静岡県三島市) 都市再生整備計画の成果概要

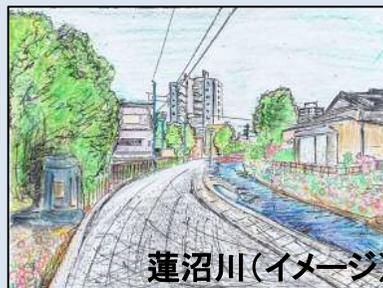
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	年間2000万人以上の三島駅乗降客や年間360万人が訪れる三嶋大社の観光客を中心に市街地へ誘導し、「訪れたい、歩きたい、住みたいまち」の形成を図るため、三島市の自然的・歴史的・文化的な資産を活用した、個性的で魅力あふれる快適空間の整備を実施し、中心市街地の再生につなげていく。	満足率	単位: %	62.1	H25	65.0	H28	62.2
市内観光案内件数		単位: 件/年	18,065	H23	19,872	H28	25,527	H28
観光交流客数		単位: 人/年	4,444,949	H24	4,889,443	H28	7,251,860	H28



街の森保全公園



白滝公園



蓮沼川(イメージ)

まちの課題の変化

- ・(主)三島停車場線の付加価値の高い歩道舗装整備、無電柱化を行うことで、歩いて楽しい街なみ形成を実現した。
- ・第1期、2期から継続してせせらぎ回遊ルートの整備を行ったことにより、来訪者の増加に繋がり、まちなかの賑わいを創造した。
- ・せせらぎノルディックコースの案内看板の設置や屋外型フリーWi-Fiの設置、外国人観光客に対するインバウンド対策の強化により、中心市街地への観光客の誘客が図られた。
- ・観光交流人口の増加により、街の賑わいが生じ、それにより新たな投資が生まれ、空き店舗等の減少に繋がった。
- ・中心市街地の自然的資源を活かした整備を行うことで、来訪者を中心市街地へ誘導することができ、楽寿園入場者数の増加にも繋がった。
- ・自然的資源を活かしたまちづくりを行うことで、まちなかの自然環境の保全に繋がった。
- ・ラグビーワールドカップやオリンピックによる外国人観光客への対応強化を図る必要がある。
- ・観光資源周知のためのPR活動や官民協働による仕掛けづくりを進める必要がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 効果を持続させるための方策
 - ・魅力的な回遊ルートづくりのため、未整備拠点の整備を行う。
 - ・市民や企業、NPO法人及び行政が一体となり、協働でまちづくりを推進する。
 - ・自然的資源、歴史的資産を活用したまちづくりの強化を図ることで、更なる来訪者の増加を図る。
 - ・観光地看板の多言語化等、インバウンド対策を考慮した取り組みを官民一体で進める。
- 改善策の基本的な考え方
 - ・せせらぎを活かし、季節を問わず一年を通して魅力を感じる仕掛けづくりを行い、来訪者の誘導を図る。
 - ・せせらぎ回遊ルートをより散策しやすいよう、拠点間の間隔を考慮した新たな拠点及びルート整備を行う。